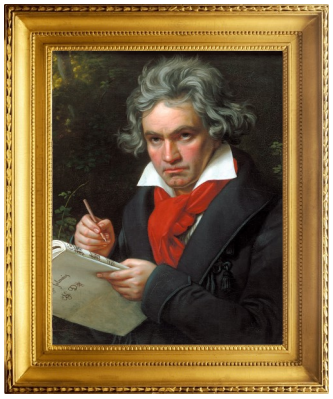
ベートーヴェンの調べ　鑑賞ガイド

「苦悩を突き抜け、歓喜に至れ」

durch Leiden Freude ―苦悩を突き抜けて歓喜を獲得するーこれは、1815年にベートーヴェンがエルデーディ伯爵夫人へ送った書簡の中に登場する言葉です。

難聴をはじめとした数々の病に悩まされ、一時は遺書を書くほどに絶望したベートーヴェン。しかし、彼はその絶望を芸術へと昇華し、幾つもの名曲を生み出しました。

今回はそんなベートーヴェンの波乱万丈な人生を象徴するような楽曲をお送りします。苦悩の果てに残された力強い名曲を、お楽しみください。



1　ピアノ・ソナタ　第8番　「悲愴」

演奏：ウィルヘルム・バックハウス

（「ピアノソナタ全集１」（資料番号：710116302）より）

この曲は、1799年、ベートーヴェンが28歳の時に発表されました。初期の代表作の一つで、「月光」「熱情」と合わせてベートーヴェンの三大ピアノソナタとも言われています。

ベートーヴェンのピアノソナタは、後世の人間が題名をつけたものが多いですが、「悲愴」は初めて楽譜が出版された当時からこの題名がつけられていました。この曲が作られたのは、ちょうどベートーヴェンが難聴を自覚し始めた頃。ベートーヴェン自身はこの表題について何も語っていないため、どのような意図でつけたのかは分かりませんが、彼の感じていた孤独や悲しみがこの曲に反映されているのかもしれません。

◆ウィルヘルム・バックハウス（1884-1969）

ドイツのピアニスト。ライプツィヒ音楽院でダルベールに師事。16歳でデビューし、国際的に活躍。1905年にはA・ルビンシテイン記念のピアノ・コンクールに優勝。

◆演奏者についてもっと知る・もっと聴く　※いずれも熊谷図書館所蔵

CD **「ピアノ・ソナタ全集1／ベートーヴェン」**　資料番号：710116302
（演奏：ウィルヘルム・バックハウス）

CD **「ピアノ協奏曲第1番；ピアノ協奏曲第2番／ベートーヴェン」**　資料番号：710088972
（指揮：ハンス・シュミット・イッセルシュテット
演奏：ウィルヘルム・バックハウス（ピアノ）、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団）

※このほかにも、関連するCDやレコードを多数所蔵しています。
お聴きになりたい資料がありましたら、お気軽に図書館職員までお尋ねください。

2　ピアノ協奏曲　第5番　「皇帝」　第1楽章

指揮：サー・コリン・デイヴィス
演奏：クラウディオ・アラウ（ピアノ），ドレスデン・シュターツカペルレ
（「ピアノ協奏曲全集」（資料番号：710058678）より）

難聴が悪化したベートーヴェンは、弟たちに宛て遺書を書くほどに絶望しますが、遺書を書く中で「自分に課された使命を果たすまでは死ねない」と感じ、翌年から交響曲第3番「英雄」を制作するなど、己の苦しみや怒り、喜びを作曲に昇華するようになりました。その後10年に渡って中期を代表する作品が書かれ、傑作の森と呼ばれる時期となります。

ベートーヴェンが完成させた最後の協奏曲である「皇帝」も、そんな傑作の森の時期に書かれた作品の一つです。

◆クラウディオ・アラウ（1903-1991）

チリ生まれ。神童として知られ、8歳でベルリンのシュテルン音楽院に留学。ドイツ音楽の権威、リストの弟子のマルティン・クラウゼに師事。正統的なドイツ音楽の継承者として名声を高めた。

◆演奏者についてもっと知る・もっと聴く

『**アラウとの対話**』（Ｊ．ホロヴィッツ編　野水瑞穂訳　みすず書房　1986）

CD **「20世紀の偉大なるピアニストたち：Vol.5」**　資料番号：710163361　※熊谷図書館所蔵
（指揮：サー・コリン・デイヴィス　演奏：クラウディオ・アラウ（ピアノ）　ドレスデン・シュターツカペルレ）

3　交響曲　第9番　第4楽章

指揮：ウィルヘルム・フルトヴェングラー
演奏：バイロイト祝祭合唱団，バイロイト祝祭管弦楽団
（「交響曲第9番ニ短調作品125：合唱／ベートーヴェン」（資料番号：710141623）より）

ベートーヴェンが完成させた最後の交響曲であるこの曲は、作曲者自身の指揮によって1824年に初演が行われました。第四楽章にはシラーの「歓喜に寄す」をもとにした歌詞がつけられており、独唱、合唱を伴う大作となっています。

日本では年末に演奏されることの多い第九ですが、ヨーロッパでは祝典や歴史的な行事の際に演奏されることが多く、今回お送りするのも、1951年、第二次世界大戦後初めてバイロイト音楽祭が再開される初日に演奏された記念すべき実況録音です。

◆ウィルヘルム・フルトヴェングラー（1886-1954）

ドイツ、ベルリン生まれ。1915年マンハイム歌劇場の指揮者になり認められるようになる。ニキッシュの後任としてライプツィヒのゲヴァントハウス管弦楽団の首席指揮者となる。このほかベルリン・フィルハーモニー 、ウィーン・フィルハーモニーの指揮者等を歴任。

◆指揮者についてもっと知る・もっと聴く

『**巨匠フルトヴェングラーの生涯**』（ヘルベルト・ハフナー著　最上英明訳　アルファベータ　2010）

『**音楽を語る**』（フルトヴェングラー著　門馬直美訳　東京創元社　1980）

CD **「永遠のフルトヴェングラー」**　資料番号：710258393　※熊谷図書館所蔵
（指揮：ヴィルヘルム・フルトヴェングラー
演奏：ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団　ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団）